

忠岡町立忠岡中学校

中学校 国語B

課題を決め、それに応じた情報収集方法を考える。

考えられる課題

課題を決め、それに応じた情報の収集方法を考える力。

条件アについては、満たしているが、条件イについては無解答率が高く、答えを出せていない。

正答率	本校	26.7%
	大阪府	42.8%
	全国	49.2%

正答率は26.7%と低く、全国平均と20ポイントの差がある。

これからの指導の方向性

- 解答の条件を理解し、適切な形で答えられる力をつける。
- そのために、文中の重要な語句を見つけ、見出しなどに着目して読むことで大まかな内容理把握ができるように指導する。
- 文章の展開を論理的に理解し、まとめるようにする。
「書く」ことへの抵抗感は減少しつつあるが、段階を踏まえた指導を行うことで、さらにB問題への対応力をつける。
- 目的に応じて適切な情報を収集するため、新聞・PCや情報通信ネットワーク等の活用を図る。

課題が見られる設問

213
高橋さんは、宇宙エレベーターについて疑問に思ったことを学校図書館で調べることになりました。あなたが疑問に思ったことを学校図書館でどのように調べますか。次のア・イについて、それぞれの指示にしたがって書きなさい。

中学校 数学A

(A-4-(1))

与えられた方法で作図された直線について言えることを選ぶ。

課題が見られる設問

作図の方法

- ①頂点Aを中心として……。
- ②点D、Eをそれぞれ……。
- ③頂点Aと点Pを通る直線を引く。

この方法によって作図した直線APについて、 $\triangle ABC$ において成り立つことからアからエまでの中から1つ選ぶ。

- ア、直線APは頂点Aと辺BCの中点を通る直線である。
イ、直線APは辺BCの垂直二等分線。
ウ、直線APは $\angle BAC$ の二等分線。
エ、直線APは頂点Aを通り辺BCに垂直な直線。

考えられる課題

・垂線の作図の方法についての理解が不足している。

正答率	本校	15.8%
	府	29.3%
無解答率	本校	2.8%
	府	0.8%

正答率が府平均を13ポイント以上下回っており、無解答率も府より2ポイントを上回っている。

これからの指導の方向性

手順通りの作図によって、何が作図できたのかを理解できるようにするために、個々の手順で得られる点や線分の特徴を図形の性質と関連付けて読み取る場面を単元の学習時に設定する。また、作図の演習と内容理解を繰り返し、作図の特徴、意図をしっかりと理解できるように指導していく。

中学校 数学B

(B-6-(2))

文字を使って手順通りに求めた数から最初に決めた数を当てる方法を説明する。

課題が見られる設問

美咲さんは、数当てゲームを優太さんと行いました。

……………美咲さんは手順通りに求めた数は4であることを当てました。

……

最初に決めた数を a として前ページの手順にしたがって計算すると次のようになります。

……………最初に決めた数を a として、手順通りに求めた数は、 $5a+10$ という文字式で表されます。手順通りに求めた数 $5a+10$ から最初に決めた数 a を当てる方法を説明しなさい。

考えられる課題

- ・問題文を読解する力。
- ・与えられた式を用いて問題を解決する方法を数学的に説明する力。

正答率	本校	5.1%
	府	14.9%
無解答率	本校	54.5%
	府	41.5%

正答率が5.1ポイントと低い。また、無解答率も54.5ポイントと生徒の半数以上が回答していない。

これからの指導の方向性

- ・ある程度複雑な文章題を演習し、読む技術の向上に努め、苦手意識をなくしていく。
- ・説明問題に対する苦手意識を克服するために、筋道を立てた考え方ができるようなヒントを提示し、処理の手順を数学的に考察するように工夫をする。

課題が見られる設問

自分にはよいところがあると思いますか。

考えられる課題

身近な場面で、肯定的な評価をされる機会が少ない。

自尊感情を高める取り組みをしてきたが、学校が予想した数値よりも低く、「あてはまる」と回答した生徒は24, 9%である。
2年前に比べて8ポイントの上昇であるが、学校としては半数の生徒が「あてはまる」となるようにしたい。

これからの指導の方向性

学校、学年、学級での取り組み後、振り返りをし、相互評価を実施する。

課題が見られる設問

家で、学校の宿題をしていますか。

考えられる課題

- ・家庭学習も本校の課題である。
- ・提出された宿題の評価およびその方法の工夫が必要である。

肯定的回答は80%を超えるが、積極的な回答は少ない。

これからの指導の方向性

学力向上担当を中心に宿題については、議論の上、適切に課してきた。そのため、ここ3年間で19ポイントの向上となっているが、今後も各教科で計画的に宿題を出しながら、評価も丁寧に実施する。